

## Analyzer機能 : Trace Control

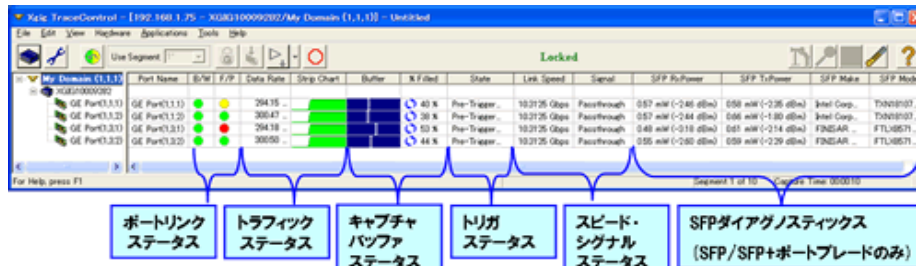
Trace Controlは、キャプチャのための条件設定を柔軟かつシンプルなGUIで提供します。

### ■ステータス表示

リンク状態やキャプチャ、トリガの進行状況を一画面で確認できます。

FC、10GbEでは、SPFダイアグノスティクスにより、受光レベルも確認できます。

- ・リンク状態とFrame状態の正否をLED表示
- ・キャプチャバッファの使用状況
- ・SFP (+) TX/RXのパワーレベル表示
- ・トリガシーケンスの進行状況



<ステータス表示画面>

### ■キャプチャセッティング

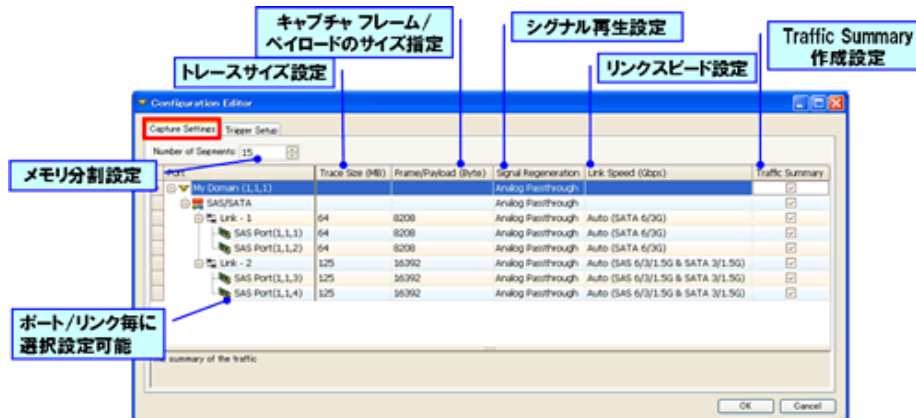
ポート単位のトレースサイズ、フレームサイズ指定や、リンク単位のシグナル再生、リンク速度設定が可能です。

SAS : 12/6/3Gbpsの自動設定

SATA : 6/3 Gbpsまたは、3/1.5 Gbpsの自動設定

キャプチャメモリは最大128分割して使用可能です。

- ・キャプチャバッファを分割使用可能 (メモリ分割設定)
- ・キャプチャFrame (Packet) サイズの指定
- ・SAS/SATA速度の自動設定



<キャプチャセッティング画面>

### ■トリガ設定

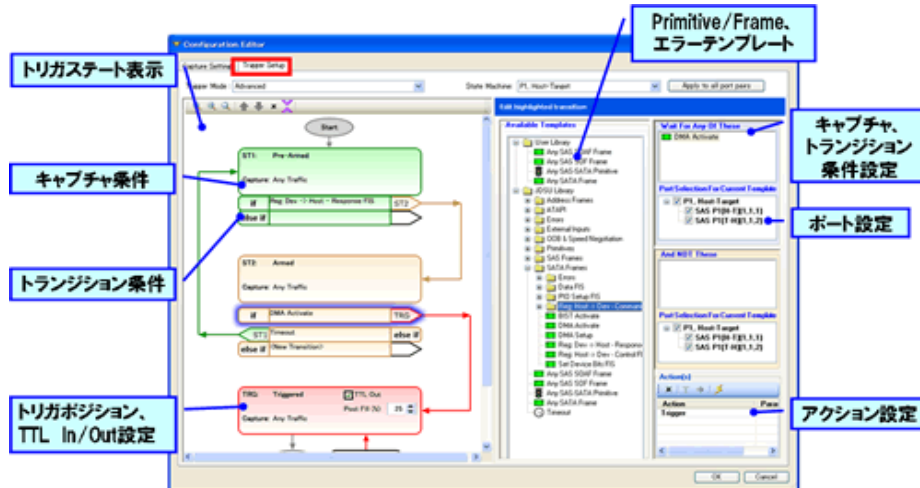
リンク毎にステートを作成し、ポート毎にキャプチャ条件やトリガ条件を指定可能です。

キャプチャ、トランジション条件をステートマシンでわかり易く表示します。

テンプレート内のFrameは、カスタマイズ可能です。

- ・SAS/SATA : 17ステートのアドバンスド・トリガ、タイマ、カウンタを使用可能

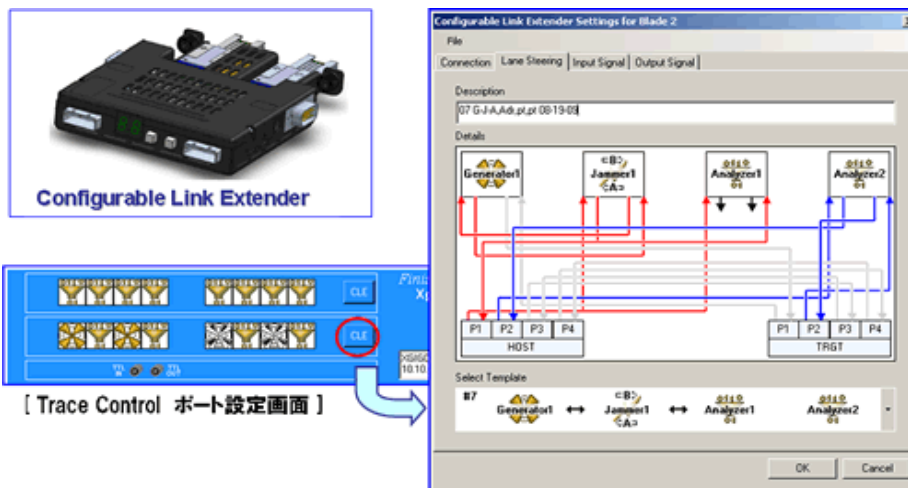
- ・ 10GbE、FC : 2ステートの4種類から選択、タイマを使用可能
- ・ テンプレートライブラリからPrimitiveやFrame、エラーを容易に選択



<トリガ設定画面>

### ■ 6G SAS/SATA Link Extenderによるシグナルの正確な受信

6G SAS/SATAアナライザでは、デバイスに対するシグナル減衰を防ぐためにLink Extenderを提供しています。さらに、Configurable Link Extenderでは、GeneratorやJammer機能との組合せによるケーブル配線が不要になります。



<Configurable Link Extender イメージ画面>